

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は平成30年度日本陸上競技連盟規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

2. ナンバーカードについて

- (1) ナンバーカードは、大阪大学601~699、名古屋大学401~499、以上のように固定制とし、24cm×20cmのものを各大学で大会前に準備する。色は、男子は白地に黒文字、女子は白地に赤文字とする。699、499以降になる際は6000番、4000番台を使用する。
- (2) 背胸部につけること。ただし、跳躍種目に出場する際はいずれか一方でも構わない。
- (3) トラック競技は招集時に腰ナンバーカードを貸与する。腰ナンバーカードはフィニッシュ後、すぐに係員に返却すること。

3. 得点について

- (1) 【男子】1位6点、2位5点、・・・6位1点とする。
ただし、5000mW・棒高跳は1位4点、2位3点・・・4位1点とする。
尚リレーは、1位6点、2位3点とする。
- (2) 【女子】1位4点、2位3点、・・・4位1点とする。
尚リレーは、1位4点、2位2点とする。
※失格・棄権・無効試技等は0点とする。
- (3) 総合成績については、総合得点と同じである場合、1位種目の多いほうを上位とする。1位種目数が同じ場合には2位種目数により、以下これに準ずる。

4. レーンについて

レーンは大阪大学3・5・7レーン、名古屋大学2・4・6レーンとする。
フィールド競技の試技順は、大阪大学2・4・6、名古屋大学1・3・5とする。

5. トラック種目開催の順番について

トラック種目において、各競技は対校男子、対校女子、オープン男子、オープン女子の順に行う。
ただし、リレーにおいてはオープン競技を先に行う。

6. 招集について

選手の招集は、本部席前で行う。トラック競技は30分前開始・15分前完了とし、フィールド競技は40分前開始・20分前完了とする。リレーのオーダー用紙は招集開始時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。尚、これは招集ではないので招集時間になったら、4人そろって招集を受けること。最終コールは現地にて行う。

7. 競技場使用上の注意

- (1) 開門時間は7:00とする。
- (2) 横断幕等の掲出はバックスタンドのみ認める。
- (3) トラック・フィールド内に立ち入ったの応援は原則禁止する。ただし、リレー種目実施時についてはこの限りではない。また、この時も走路内への立ち入りは厳禁である。

- (4) 競技場内でマーカーを使用した際は必ず各自ではがすこと。
- (5) スパイクでの競技場内通路の通行は**厳禁**とする。
- (6) ウォーミングアップは、開場から9時20分まではメイントラックの使用を認める。
- (7) 貴重品の管理は各大学で責任を持って行うこと。競技場内における紛失、盗難等について主管校はその責任を負わない。拾得物は大会本部にて一時保管する。
- (8) 競技場は全天候舗装であるため、使用するピンの長さをトラックは9mm以下、走高跳・やり投については12mm以下とする。
- (9) 清掃は各大学で確実にを行うこと。主管校より渡されたゴミ袋を使用して一つにまとめること。

8. リレーについて

エントリーはリレーメンバーについて、**対校の部に出場する選手で**2名に限り、事前にエントリーしていなくてもメンバーと交代することができる。また、対校の部に補欠としてエントリーされている者は、変更で正選手となった場合に、リレーメンバーと交代することが出来る。

9. 用器具について

- (1) 用器具はすべて競技場備え付けのものを使用する。ただし、やりについては個人のもので検査の上、使用を認める。その場合、使用に際しての破損などによる事故発生の場合、使用した当該競技者の負担において賠償の責務を負うものとする。主管校はその責務を負わない。
- (2) やりの検定については、**招集開始時刻の30分前から4番倉庫**にて検定を行う。

10. トラック種目について

- (1) 短距離種目では、フィニッシュ後も他の競技者の安全のため、自分のレーンを走ること。
- (2) オープンの部、対校の部ともに長距離種目（5000m）では天候により給水を行う。
- (3) オープン5000mはエントリー人数が多い場合、二段階スタートとする。

11. フィールド種目について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方・三段跳の踏切板の位置は、当日のコンディションにより、両校協議の上で決定する。
- (2) フィールド種目において、正選手の試技は6回、オープン選手は3回とする。

12. 開・閉会式について

- (1) 開会式は午前9時半より行うので、トラック上ホームストレート側に整列すること。ただし、芝生には入らないこと。
- (2) 閉会式は、競技終了後直ちに行うので、開会式と同様に整列すること。

13. その他

電子機器などの競技場所での使用、所持は一切認められない。勧告を受け入れない場合は失格となる